

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果

豊能町教育委員会

はじめに

本調査は、児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証するとともに、学校における教育活動の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に、平成19年度より実施されています。

今年度は、令和4年4月19日(火)に悉皆調査として実施され、本町は、全小学6年生(4校103名)、全中学3年生(2校78名)が参加しました。

調査内容は、教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)、生活習慣や学習環境等に関する調査が実施されました。

【1】全体概要

小学校では、国語は全国平均正答率を上回り、算数、理科は下回りました。

中学校では、国語、理科は全国平均正答率を下回り、数学は上回りました。

※ただし、本調査において測定できる学力は、特定の一部分です。

	教科 (設問数)	令和4年度(今回)				令和3年度 (全国比較)	
		豊能町	大阪府	全国	全国比較		
小学校 6年生	国語 (14)	66	64	65.6	+0.4	国語 (14)	-3.7
	算数 (16)	63	63	63.2	-0.2	算数 (14)	-3.2
	理科 (17)	63	60	63.3	-0.3	理科 (実施なし)	-
中学校 3年生	国語 (14)	68	67	69.0	-1.0	国語 (10)	+2.4
	数学 (14)	52	51	51.4	+0.6	数学 (16)	+4.8
	理科 (21)	46	47	49.3	-3.3	理科 (実施なし)	-

各教科区分の平均正答率(%)

*令和4年度の調査問題は以下の文部科学省のホームページに掲載されています。

国立教育政策研究所 <https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>

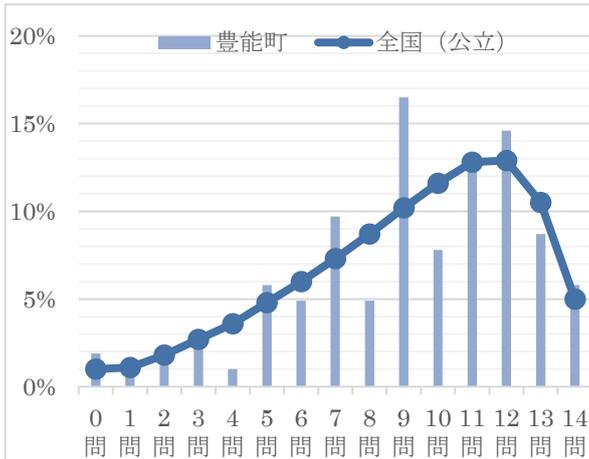


■ 教科に関する問題の調査結果概要

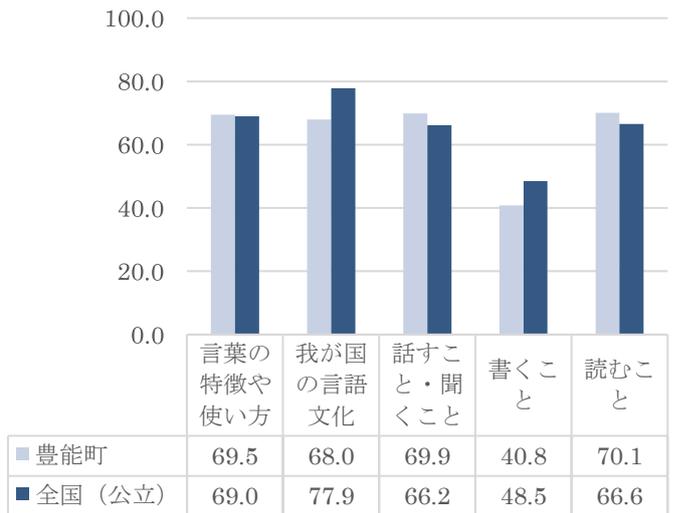
1. 小学校 国語

- 国語については、平均正答率が66%で、全国平均値を0.4ポイント上回った。
- 「我が国の言語文化」及び「書くこと」の領域においてのみ全国平均値を下回った。その他の領域は全国平均値を上回った。

国語



正答数分布グラフ (%)



領域別平均正答率 (%)

正答率上位2問

◇【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する。

設問1一) 86.4% (全国 85.5%)

◇【話し合いの様子の一部】において、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として、適切なものを選択する。

設問1三) 86.4% (全国 84.7%)

◇「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する。

設問2一(1) 77.7% (全国 68.4%)

正答率下位2問

◇[文章2]の□の部分で、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する。

設問3一) 52.4% (全国 59.2%)

◇[文章2]の中の__部アを漢字を使って書き直す。(はんせい)

設問3一イ) 54.4% (全国 58.7%)

《指導改善に向けて》

【書くこと】

- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して文や文章を整える指導の工夫

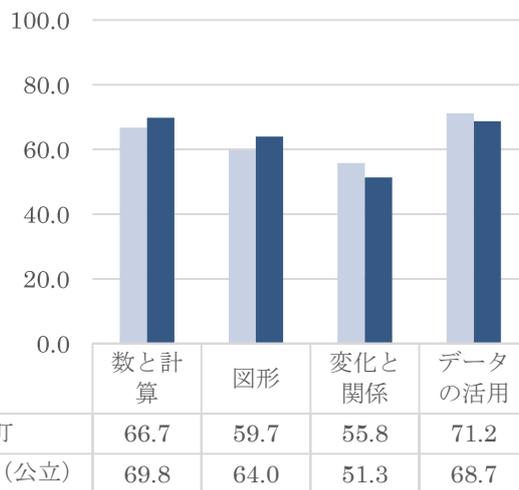
2. 小学校 算数

- 算数については、平均正答率が63%で、全国平均正答率を0.2ポイント下回った。
- 「変化と関係」・「データの活用」領域は全国平均値を上回ったが、「数と計算」・「図形」の領域においては、全国平均値を下回り、課題が見られる。

算数



正答数分布グラフ (%)



領域別平均正答率 (%)

正答率上位2問

◇1050×4 を計算する

設問1 (1) 91.3% (全国92.4%)

◇長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを
書く

設問4 (2) 81.6% (全国83.2%)

正答率下位2問

◇果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの
果汁の割合について正しいものを選ぶ

設問2 (3) 28.2% (全国21.4%)

◇85×21 の答えが1470 より必ず大きくなることを判
断するための数の処理の仕方を選ぶ

設問1 (4) 33.0% (全国34.8%)

《指導改善に向けて》

【数と計算】

- 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察する指導の工夫

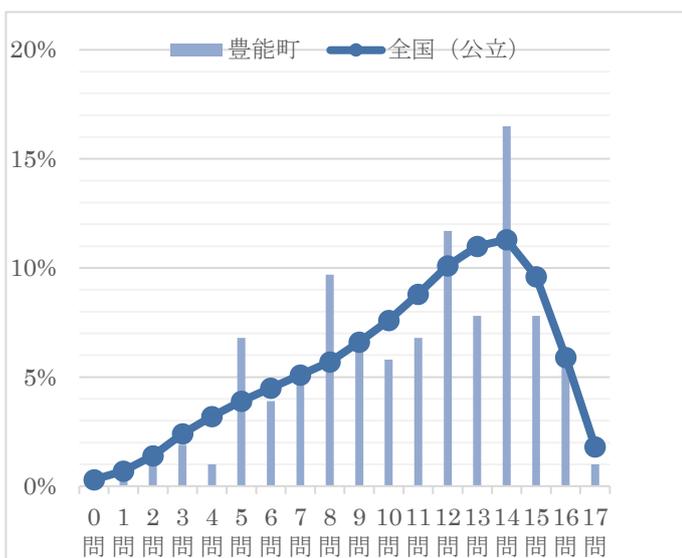
【図形】

- 図形 (正三角形や平行四辺形) を構成する要素を理解し、回転したときの角度の大きさ等を捉え考察する学習場面の設定

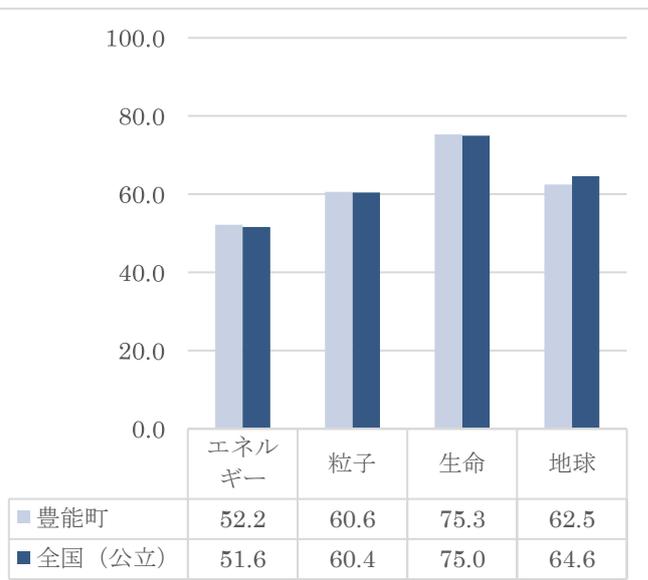
3. 小学校 理科

- 理科については、平均正答率が63%で、全国平均正答率を0.3ポイント下回った。
- 「エネルギー」・「粒子」・「生命」を柱とする領域は全国平均値を上回ったが、「地球」を柱とする領域においては、全国平均値を下回り、課題が見られる。

理科



正答数分布グラフ (%)



領域別平均正答率 (%)

正答率上位2問

◇見出された問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ

設問1 (1) 91.3% (全国 92.9%)

◇水 50mL をはかり取る際に、メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選ぶ

設問4 (2) 81.6% (全国 70.0%)

正答率下位2問

◇光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ

設問3 (1) 22.3% (全国 27.8%)

◇問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く

設問3 (4) 38.8% (全国 35.1%)

《指導改善に向けて》

【エネルギー及び地球を柱とする領域】

- 実験や観察で得た結果を分析し、考察し自分の考えを記述する学習場面の設定

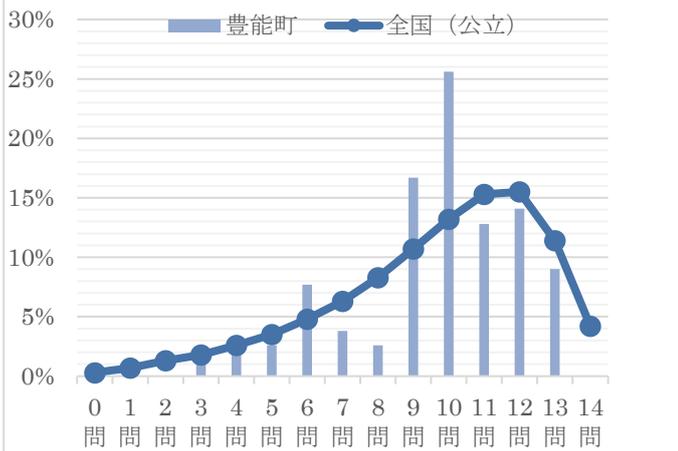
【粒子を柱とする領域】

- 自然の事物・現象から得た情報を、他者の気づきの視点で分析することのできる指導方法の工夫

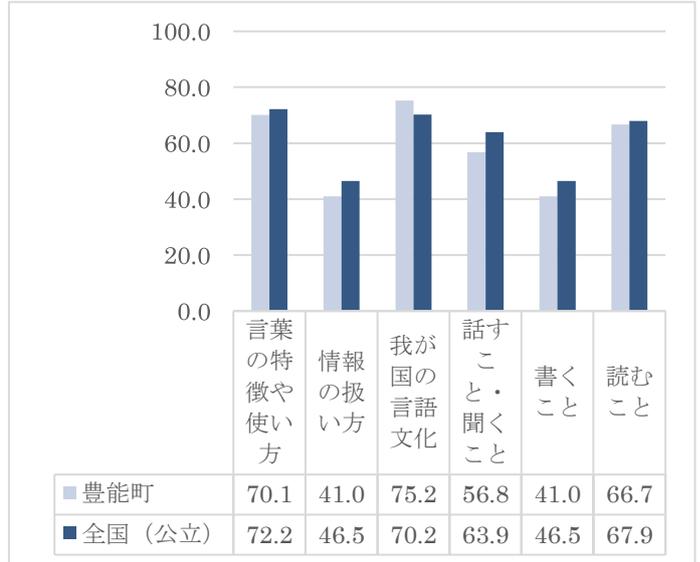
4. 中学校 国語

- 国語については、平均正答率が68%で、全国平均値を1.0ポイント下回った。
- 「我が国の言語文化に関する事項」領域は全国平均値を大きく上回ったが、その他の領域等においては、全国平均値を下回った。

国語



正答数分布グラフ (%)



領域別平均正答率 (%)

正答率上位2問

◇漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する

(設問4二) 93.6% (全国 90.1%)

◇適切な漢字を書く (のぞく)

(設問2二①) 91.0% (全国 82.1%)

正答率下位2問

◇スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く

(設問1三) 35.9% (全国 51.8%)

◇農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える

(設問4一) 41.0% (全国 46.5%)

《指導改善に向けて》

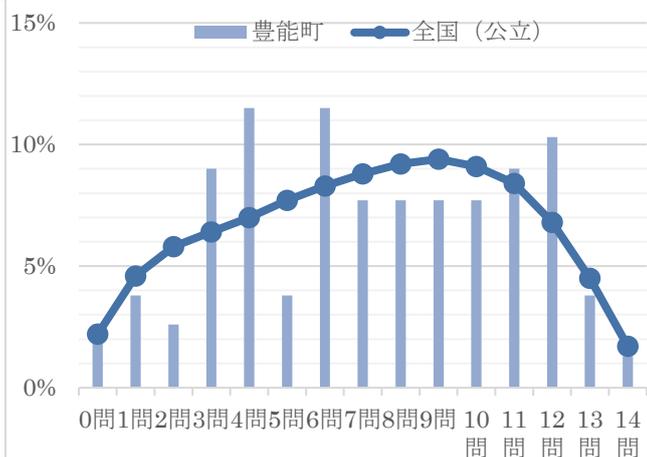
【書くこと】

- 書いた文章が相手に自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫して書く指導の工夫
- 自分の考えが伝わる文章になるよう、根拠を示して書く指導の工夫

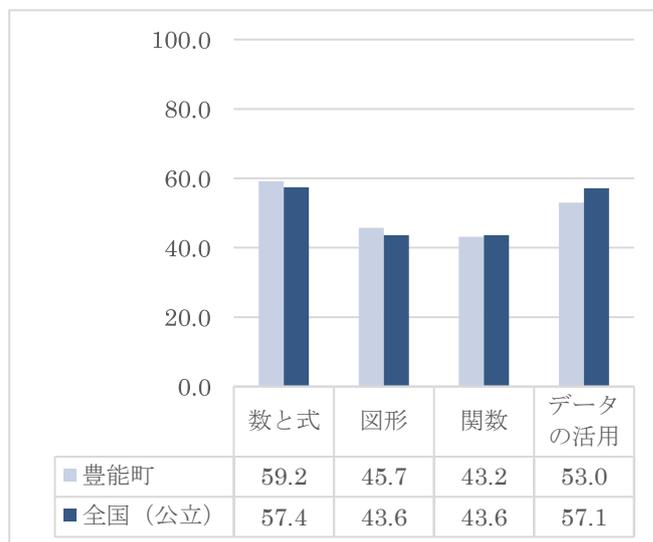
5. 中学校 数学

- 数学については、平均正答率が52%で、全国平均値を0.6ポイント上回った。
- 「関数」と「データの活用」の領域は全国平均値を下回ったが、「数と式」「図形」の領域等においては、全国平均値を上回った。

数学



正答数分布グラフ (%)



領域別平均正答率 (%)

正答率上位2問

◇連立二元一次方程式 $\begin{cases} 2x + y = 1 \\ y = x + 4 \end{cases}$ を解く

設問2 82.1% (全国 74.5%)

◇同じ偶数の和である $2n + 2n = 4n$ について、 n が9のときどのような計算を表しているかを書く

設問6 (1) 80.8% (全国 73.8%)

正答率下位2問

◇ $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成する

設問9 (2) 12.8% (全国 12.5%)

◇変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ

設問4 33.3% (全国 37.9%)

《指導改善に向けて》

【関数】

- 一次関数の変化の割合の意味を説明する活動の充実

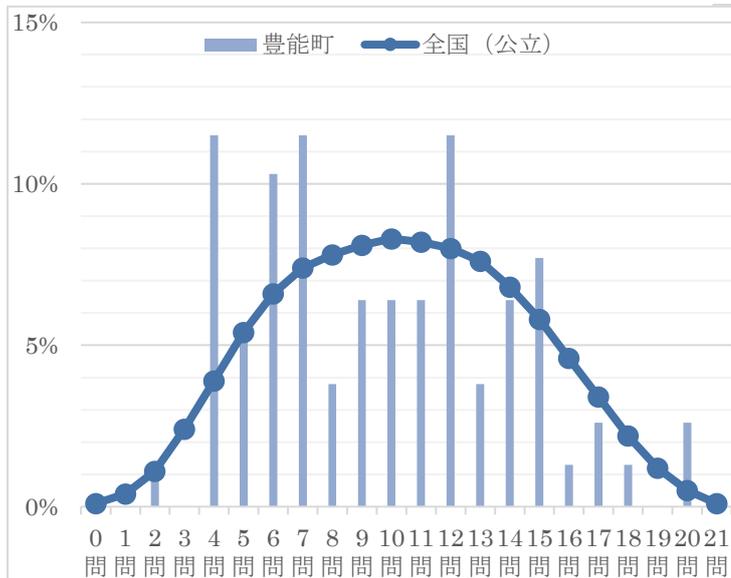
【データの活用】

- データやグラフなどを適切に読み取り、データの傾向を捉え、批判的に考察する活動の充実

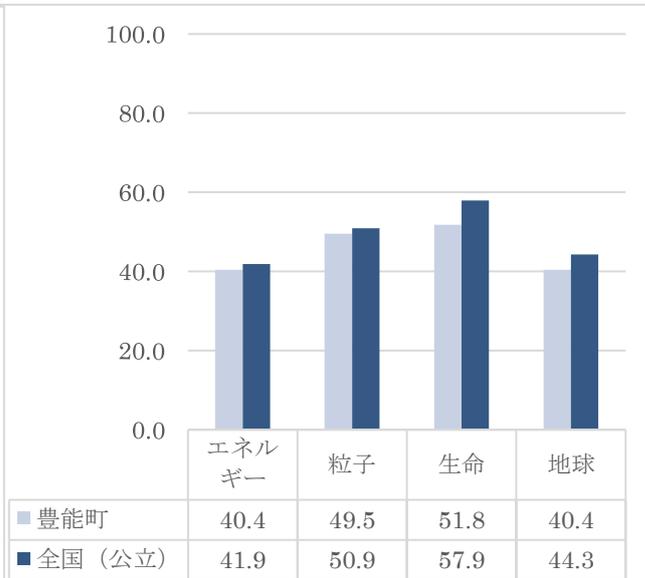
6. 中学校 理科

- 理科については、平均正答率が46%で、全国平均値を3.3ポイント下回った。
- 「エネルギー」及び「粒子」を柱とする領域は全国平均値をやや下回り、「生命」「地球」の領域等においては、全国平均値を大幅に下回った。

理科



正答数分布グラフ (%)



領域別平均正答率 (%)

正答率上位2問

◇分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す

設問3 (1) 87.2% (全国 80.1%)

◇タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する

設問1 (2) 74.4% (全国 78.5%)

正答率下位2問

◇水素を燃料として使うしくみの例の全体を動かせるおおもとを指摘する

設問3 (3) 19.2% (全国 24.8%)

◇上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する

設問2 (3) 23.1% (全国 28.5%)

《指導改善に向けて》

【「地球」を柱とする領域】

- 観測データや資料などを用いて考察を行ったり、これから起こると考えらえる事象を推論したりする活動の充実

【「生命」を柱とする領域】

- 動物の体のつくりと働きについて、外部形態や生活場所と関連付け、共通点や相違点に着目して考察を行う場面の設定

【2】成果と課題

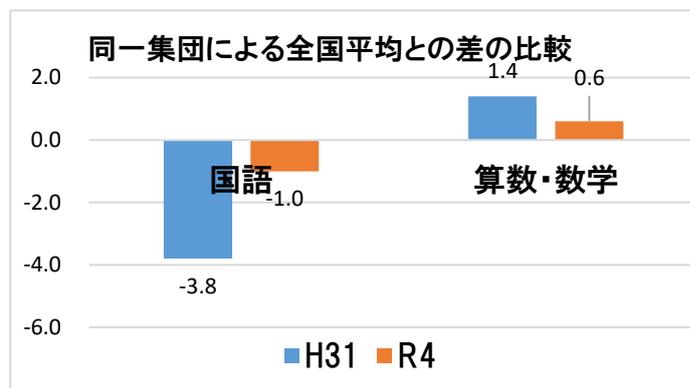


- ・小学校では、学習意欲の向上や基礎基本の定着、活用力の育成が課題です。特に、資料から必要な情報を読み取り、根拠をもとにした自分の考えを記述する力は、国語・算数・理科いずれにも課題があります。
- ・中学校では、基礎的・基本的な学習内容の定着に成果が見られ、良好な学習状況であるといえます。しかし、根拠をもとに自分の考えを明確にして書く、あるいは説明する記述式問題においては、国語・数学・理科いずれも無解答率が高いことが課題です。日々の授業の中で、生徒が最後まであきらめないうで問題に取り組む力を育む授業づくりが必要である。

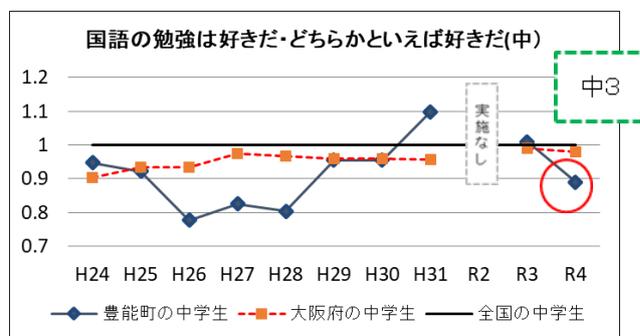
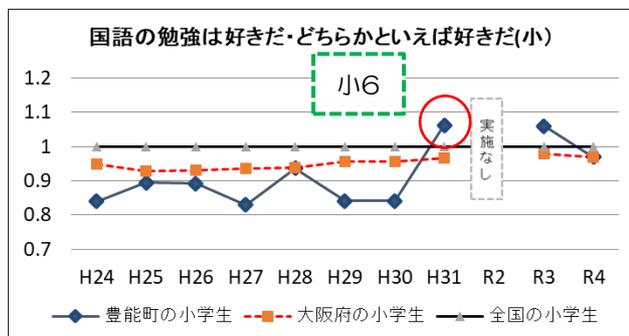
3年前小学校6年生であった集団と今年度中学校3年生（同一集団）の平均正答率を比べてみました

■ 平成31年度（小学6年）と令和4年度（中学3年）による全国平均との差の比較

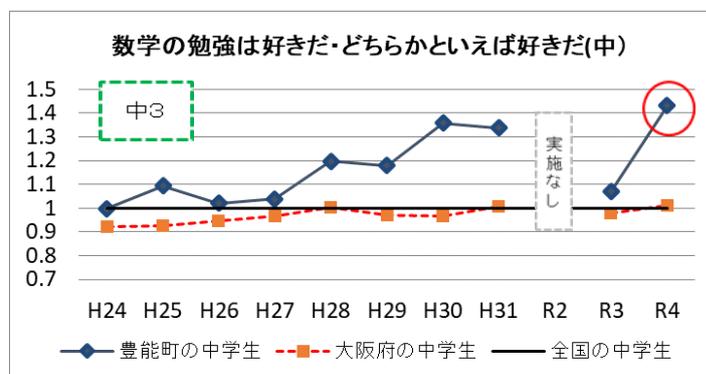
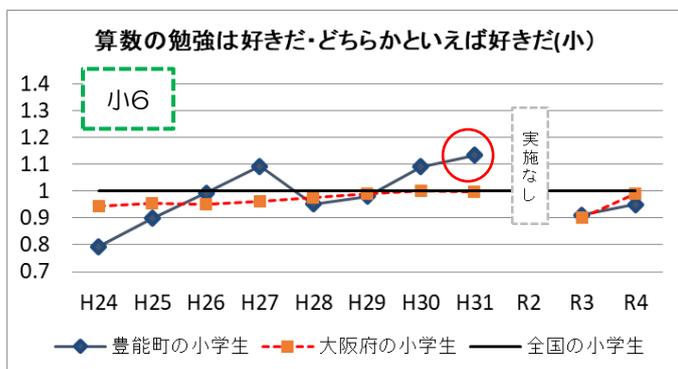
教科	平成31年度 小学6年	令和4年度 中学3年
国語	-3.8	-1.0
算数 数学	+1.4	+0.6



■ 児童・生徒質問紙の結果から教科の勉強に対する姿勢や興味・関心との関係が見えてきます。



「国語の勉強は好きですか」の質問について全国を1とした場合、平成30年からの豊能町の変化をみると、平成31年には肯定的な回答が増加傾向にあり、全国平均を上回っていますが、令和3年～令和4年は減少気味になっています。今年度の中学3年生の回答を小学6年生時と比較すると、1.06から0.89まで減少しています。



「算数・数学の勉強は好きですか」の質問について全国を1とした場合、平成30年からの豊能町の変化をみると、小学校は肯定的な回答が平成31までは増加傾向にあります。令和3年には全国を下回り、令和4年に向けて増加しつつあります。中学校は平成30年から31年にかけて減少傾向にあり、令和3年に全国を上回るものの減少し、令和4年に向けて大幅に増加しました。今年度の中学3年生の回答を小学6年生時と比較すると、1.13から1.43と増加傾向にあります。

【3】児童・生徒質問紙より

【学習に対する関心・意欲・時間】

- 読書への取組について、望ましい学習習慣が定着しています。
- 小学校算数・国語の学習意欲において課題が見られます。
- 小中学校とも理科の学習意欲において課題が見られます。

質問項目	小学校		中学校	
	豊能町	全国比	豊能町	全国比
国語の勉強は好き。	57.9 (27.1)	-1.3 (+3.7)	75.6 (20.5)	+13.7 (-3.7)
国語の授業の内容はよく分かる。	81.3 (38.3)	-2.7 (-1.2)	85.9 (32.1)	+4.7 (+0.2)
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	91.6 (69.2)	-0.2 (+3.7)	87.2 (60.3)	-2.5 (+4.7)
算数・数学の勉強は好き。	59.8 (35.5)	-2.7 (-0.7)	92.3 (64.1)	+5.7 (+12.0)
算数・数学の授業の内容はよく分かる。	82.3 (47.7)	+1.1 (+2.1)	96.2 (59.0)	+2.0 (+22.9)
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	91.6 (83.2)	-1.7 (+8.5)	84.7 (52.6)	+8.2 (+11.9)
理科の勉強は好き。	70.1 (45.8)	-9.6 (-3.5)	52.6 (24.4)	-13.8 (-7.8)
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	75.7 (48.6)	-1.5 (+3.1)	71.8 (32.1)	+10.3 (+7.3)
理科の授業の内容はよく分かる。	82.2 (49.5)	-5.4 (-0.9)	83.3 (42.3)	+8.1 (+11.9)
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	66.3 (29.9)	-4.8 (+2.4)	66.7 (10.3)	+8.2 (-5.1)

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上、勉強をします。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学時間も含む） （ ）内は、3時間以上の回答	24.2 (12.1)	-0.9 (+0.8)	39.7 (14.1)	+4.5 (+4.2)
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上、読書をします。 （ ）内は、2時間以上の回答	27.1 (7.5)	+9.8 (+0.3)	15.4 (7.7)	+3.0 (+3.1)

※数値は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」等、肯定的な回答の割合(%) ()内の数値は、肯定的な回答のうち「当てはまる」等と回答した割合(%)

【授業等の教育活動】

○小学校の教育活動において、探求的な活動や話し合い活動等で全国の肯定的回答を下回った。日頃より、授業で課題解決に向けた『主体的な学び』や、友だちとの協働活動を通じた『対話的な学び』、話し合い活動などを取り入れた学習活動に取り組む様子は散見されるが、今後更に学習過程の質的改善が求められる。

○道徳の授業では、『考え、議論する』学習活動が小中学校ともに取り入れられているが、小学校では今後更に考えを深めることのできる学習活動が望まれる。

質問項目	小学校		中学校	
	豊能町	全国比	豊能町	全国比
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。	67.8 (24.3)	-10.0 (-6.2)	82.1 (35.9)	+2.9 (+4.7)
学級の友達との間（生徒の間）で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。	73.8 (33.6)	-6.3 (-4.1)	84.6 (42.3)	+5.9 (+8.2)
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う。	60.7 (22.4)	-4.7 (-4.7)	76.6 (33.3)	+13.3 (+10.8)
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	73.8 (32.7)	-4.4 (-0.5)	69.3 (37.2)	-5.4 (+11.6)
授業では、教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていますか。	65.4 (32.7)	-6.8 (+4.8)	80.8 (30.8)	+13.4 (+8.8)
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。	74.8 (35.5)	-5.2 (-7.0)	85.9 (53.8)	+0.4 (+10.8)

※数値は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」等、肯定的な回答の割合(%) ()内の数値は、肯定的な回答のうち「当てはまる」等と回答した割合(%)

【規範意識及び生活習慣】

- 小・中学校ともよりよい学級づくりに向けた話し合いが充実している。
- 「いじめはいけないこと」という認識は9割を超え高い値ではあるものの、小学校はわずかに全国値を下回っている。
- 「朝食を毎日食べている」が中学校では全国値を下回っている。
- 「毎日同じ時刻に起床している」が小中学校ともに全国を上回っている。

質問項目	小学校		中学校	
	豊能町	全国比	豊能町	全国比
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	77.6 (34.6)	+4.1 (+4.1)	78.2 (29.5)	+1.4 (+0.5)
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。	96.2 (79.4)	-0.6 (-4.5)	97.4 (84.6)	+1.0 (+2.0)
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	94.4 (72.0)	-0.7 (-3.1)	98.8 (82.1)	+3.8 (+8.6)
朝食を毎日食べていますか。	96.2 (85.0)	+1.8 (+0.1)	87.2 (80.8)	-4.7 (+0.9)
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	83.2 (41.1)	+1.7 (+0.4)	84.6 (41.0)	+4.7 (+4.0)

※数値は「している」「どちらかといえば、している」等、肯定的な回答の割合(%) ()内の数値は、肯定的な回答のうち「している」等と回答した割合(%)

【自尊心・挑戦心及び社会に対する関心】

- 自分のよいところを見出せていない児童が全国に比べ非常に多い。
- 将来の夢や目標を持つことや、困難への挑戦心が小学校では全国値を下回った。
- 地域行事に参加したり、地域のためにできることを考えたりしている児童・生徒が多く、地域への愛着が見られる。

質問項目	小学校		中学校	
	豊能町	全国比	豊能町	全国比
自分には、よいところがあると思いますか。	66.3 (29.9)	-13.0 (-9.5)	74.4 (29.5)	-4.1 (-6.5)
将来の夢や目標を持っていますか。	78.5 (56.1)	-1.3 (-4.3)	67.9 (39.7)	+0.6 (-0.1)
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。	70.1 (34.6)	-2.4 (+7.0)	74.4 (23.1)	+7.3 (+1.7)
今住んでいる地域の行事に参加していますか。	67.3 (28.0)	+14.6 (+4.6)	50.0 (20.5)	+10.0 (+6.2)
地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	55.1 (19.6)	+3.8 (+2.0)	52.6 (16.7)	+11.9 (+5.6)

※数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合(%) ()内の数値は、肯定的な回答のうち「当てはまる」等と回答した割合(%)

【4】課題克服のための今後の取り組み 【豊能町学力向上プランより】

豊能町 学力向上プラン（今年度最終年次）の基本方針を推進していきます

危機感を持って、学力向上に取り組む

計画的・組織的・継続的

1. 授業力の向上
2. 全校的・組織的な学力向上の推進
3. 新教育課程・ICTの活用研究
4. 学習習慣・学習規律の育成

重点的な取り組み

- 指導方法の工夫改善
- 言語活動の充実
- 学力向上指導員の配置
- ICTを活用した授業研究
- 地域の学習資源を生かした授業づくり
- まなび舎事業の拡充
- 家庭教育との連携

